



魅力ある高校生にインタビュー



明日へ ジャンプ。

No.192

高校3年間をかけて選手と 共に目指すはベスト8進出

伊勢崎工業高等学校 2年 ^{くりはら あず} 栗原 杏 さん

伊勢崎工業高校硬式野球部に所属している栗原さんにマネジャーを始めたきっかけを聞きました。

「小学生の時に弟の野球の試合を見に行き、保護者がスコアを書いているのを見て、何をしているのか興味を持ちました。実際にスコアの書き方を習得した時に、マネジャーをやりたいと思いました。また、始めるなら父の母校でやりたいと思う、工業高校に進学を決めました」

硬式野球部で唯一のマネジャーとして、時間の管理や球出し、声かけなど日々選手をサポートしている栗原さんですが、これまでで最も悔しさを感じた大会があるといいます。

「今年4月に行われた春季関東地区高校野球大会群馬県予選で、ベスト16敗退となってしまいました。あと一步のところで目標としていたベスト8に進出できずとても悔しかったです」

この大会で悔しさを感じた栗原さんは本格的にあることを始めたと話してくれました。「大会で負けたことをきっかけに先生に手伝ってもらいな

がら、選手全員の打率を記録することになりました。打率を記録し始めたことをきっかけに、チームや選手個人の課題の把握だけでなく、モチベーションの向上や練習の効率化にもつながったと思います。また、練習を続けていく中でだんだんと選手の打率が伸びているのを実感しうれしかったです」

マネジャーとして常に選手のことを考えながら活動をしている栗原さんに今後の目標を聞きました。

「全国高校野球選手権群馬大会でベスト8以上を目指したいです。今まで以上に選手をサポートし、みんなで悔いが残らない試合にしたいです」

プロフィール

くりはら・あず

選手への球出しを始めた時に先生からもらったバッティンググローブがお気に入り。休日は家族と野球観戦をするなどして過ごしている。人と関わるのが好きで、将来は多くの人と関わる仕事に就きたいと考えている。



11月22日(金)にいせさきFMで放送します

●午前7時54分～

●午後1時25分～

●午後5時50分～